



出生をめぐる倫理研究会 公開研究会

講師：安田裕子

挨拶：松原洋子

司会：小門 穂

安田裕子(立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員)

「子どもをもつことをめぐる 女性の選択と経験 —語りからのアプローチ—」

先端化・高度化する不妊治療を受ける女性は、治療についてどのように考えているのか。不妊治療は、必ずしも妊娠・出産で終わるわけではない。受けている渦中で、またうまく行かなくなった時に、治療をどのように受け止めることができるのだろうか。

安田裕子氏は、不妊治療を受けたが子どもを授からず治療をやめ、養子縁組を行った/検討した女性たちにインタビューを行った。本研究会では、安田氏が丁寧に聴きとった彼女たちの語りから、女性の人生にとっての不妊治療や子どもをもつという経験について、再検討を行いたいと考えている。

安田裕子氏の主著：安田裕子『不妊治療者の人生選択—ライフストーリーを捉えるナラティブ・アプローチ』新曜社（2012年）、安田裕子・サトウタツヤ（編著）『TEMでわかる人生の径路—質的研究の新展開』誠信書房（2012年）など。

2014年3月26日（水） 14時～16時
立命館大学衣笠キャンパス 創思館401/402

主催：立命館大学生存学研究センター若手研究者研究力強化型プロジェクト
「出生をめぐる倫理研究会」

事前申し込み不要・入場無料 ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ先：立命館大学生存学研究センター事務局

603-8577 京都市北区等持院北町56-1

ars-vive@st.ritsumei.ac.jp tel: 075-465-8475 fax: 075-465-8245